

なるほど! わかった!

2023年度

# 戸田市のおさいふ

おさいふの  
中身を  
一緒に見てみよう!



戸田市の財政案内人  
おさいふくん



# おさいふの中身を見てみよう

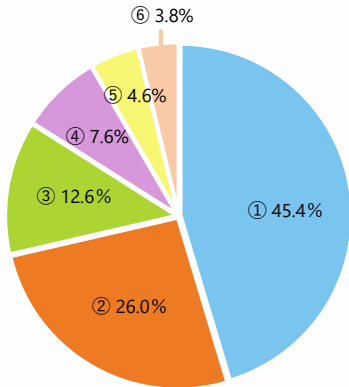


みなさんのご家庭でも家計という「おさいふ」があり、お給料などの「収入」のなかで計画的に支出をして生活してますよね。  
戸田市の「おさいふ」でも同じように、市税などの「収入（歳入）」のなかで様々な「支出（歳出）」をして、市民生活が滞りなくまわるよう、計画的にやりくりしています。  
2022年度の「収入」と「支出」を詳しく見てみましょう。



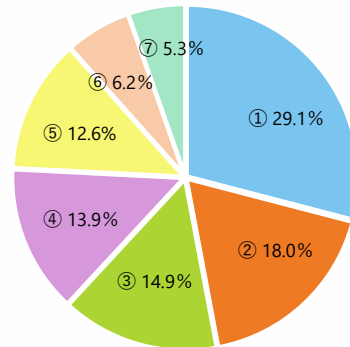
(2022年度 普通会計決算)

## 戸田市の歳入(収入)



① 市税	300億5千万円
② 国・県支出金	172億6千万円
③ 使用料・手数料・交付金など	83億4千万円
④ 繰越金	50億5千万円
⑤ 市債	30億6千万円
⑥ 基金などからの繰入金	25億0千万円

## 戸田市の歳出(支出)

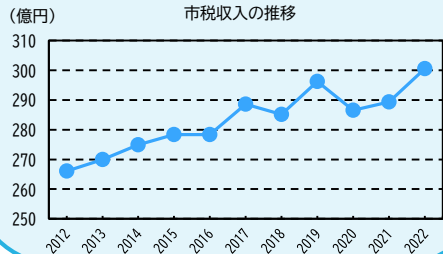


① 扶助費	178億1千万円
② 物件費	110億2千万円
③ 繰入金・補助費など	91億0千万円
④ 人件費	85億3千万円
⑤ 投資的経費	77億2千万円
⑥ 積立金・貸付金	38億0千万円
⑦ 公債費(借金を返済するお金)	33億0千万円

### 市税は最も重要な財源

市税は、市の収入の45%を占めており、市の発展のために欠かすことのできない最も重要な財源となっています。

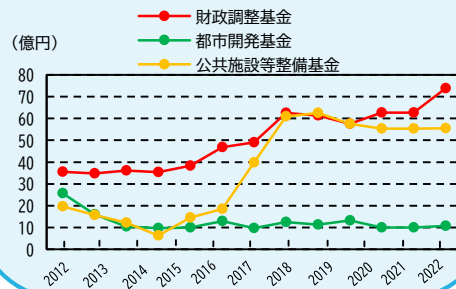
納付された市税は福祉や教育、健康づくり、子育て、環境、防災などの事業や公園・道路などの社会資本の整備に使われ、皆さんの日々の生活を支えています。



### 安定して事業を行うために基金(貯金)を活用

家計でも貯金があるように、市にも貯金に相当する「基金」というものがあります。

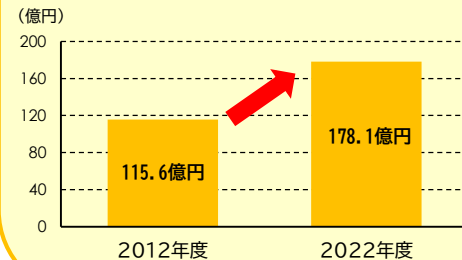
基金があることによって継続的に事業を進めていくことができるほか、突発的な支出や経済状況の悪化等にも対応することができます。



### 扶助費は私たちの生活を支える基礎

扶助費とは、社会保障の一環として、育児、高齢者、障がいのある人、生活困窮者を福祉の面から支えるお金です。

近年、扶助費は増加傾向にあり、戸田市では、10年間で約62.5億円も増加しています。

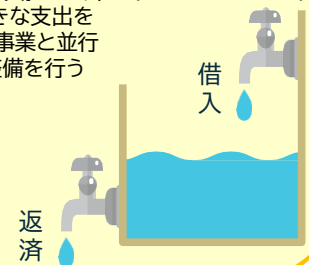


### 市債(借入金)の活用と公債費(返済金)

家計でも住宅や車など大きな買い物をするときは、ローンを組んで買う場合があるように、市が大きな施設を建設するときなどは、「市債」という借金をしてお金を工面しています。

市債を利用し、分割払いとすることで、現在の市民と未来の住民との負担を公平にすることができます。

また、一度に大きな支出をしないので、他の事業と並行して公共施設の整備を行うことができます。



# おさいふのやりくりは上手にできているの？

戸田市は、おさいふのやりくりが上手にできているのでしょうか。ここでは、「健全化判断比率」と「プライマリーバランス」という指標で、財政状況を見てみましょう。

## 健全化判断比率

健全化判断比率とは、地方公共団体の財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するものとして定められた、以下の4つの指標のことを言います。

赤字額が増えたり、財政状況が厳しくなってきたことを表す「早期健全化基準」や「財政再生基準」を超えてしまうと、財政運営を大きく見直さなければなりません。

### 実質赤字比率

**黒字**

※早期健全化基準 11.74%  
(財政規模による)

一般会計等に生じている赤字の大きさを財政規模に対する割合で表したものです。

### 連結実質赤字比率

**黒字**

※早期健全化基準 16.74%  
(財政規模による)

水道などの公営企業も含めた、全ての会計を合計した赤字の大きさを財政規模に対する割合で表したものです。

### 実質公債費比率

**8.3%**

※早期健全化基準 25%

一般会計等の借入金の返済額の大きさを財政規模に対する割合で表したものです。

### 将来負担比率

**19.8%**

※早期健全化基準 市町村350%

市債や数年間にわたる契約により約束された支払、土地開発公社の債務保証など、将来支払わなければならない負債を財政規模に対する割合で表したものです。

本市は、4つの指標すべてが「健全段階」です。



## プライマリーバランス（基礎的財政収支）

プライマリーバランスとは、市債（借金による収入）と公債費（借金の元金や利子を返済する支出）を除いた収支のことです。

黒字の場合は、公債費以外の歳出を市債以外の歳入でまかなっていることになり、健全な状態といえます。

一方、赤字の場合は、公債費以外の歳出について市債を発行しなければまかなえず、将来世代に負担を先送りしている状態といえます。

### 2022年度普通会計決算

歳入総額662億6千万円 - 市債 30億6千万円 = 632億0千万円 …A  
歳出総額612億8千万円 - 公債費33億0千万円 = 579億8千万円 …B

A - B = **52億2千万円**

本市のプライマリーバランスは、「黒字」です。



## 保育園

市の負担 約29.3億円

市民一人あたり 20,625円



保育が必要な子どもたちが保育園へ通うことができるよう、保育施設や体制の整備を行っています。  
保育園の運営費は、保護者が支払う保育料のほか、国、県及び市による補助が行われています。  
なお、戸田市には、公立保育園と民間保育園、小規模保育施設など、併せて57の認可保育施設があります。

## 学校給食

市の負担 約9.9億円

市民一人あたり 6,990円



小学校12校と中学校6校に栄養バランスのとれた、安心安全でおいしい給食を提供しています。  
月に1回は日本各地の郷土料理を紹介し、給食を通して、日本の食文化にも触れる機会を設けています。  
なお、費用の3分の1は、材料費として保護者が納める給食費によってまかなわれています。

## 図書館

市の負担 約4.4億円

市民一人あたり 3,101円



図書館には、中央図書館、上戸田分館、下戸田・美笹支所・下戸田南の3分室及び戸田公園駅前配本所の6カ所のサービス拠点があります。  
一般書や児童書など約40万冊の蔵書があり、子どもから大人まで市民の学びの場となっています。

## 防災

市の負担 約0.9億円

市民一人あたり 632円



災害時に正確で機動的な応急対策活動が展開できるよう、防災行政無線や災害用発電機の整備、防災備蓄倉庫の非常用食料をはじめとする備蓄品類の整備、充実を行っています。  
また、地域防災力の向上を目指し、水害避難の検討や避難行動要支援者避難支援制度周知のほか、自主防災会やマンション等で防災資器材を購入する際の補助を行っています。

2022年度

どんなことに  
いくら  
かかったのかな



市の負担

2022年度決算のうち、  
一般財源負担額

(※国県補助金や使用料、分担金などを除いた純粋な市の負担)

市民1人あたり

141,927人で計算

(2023年3月31日現在の人口)

## スポーツ施設

市の負担 約2.7億円

市民一人あたり 1,923円



快適なスポーツの場を提供するため、スポーツ施設予約管理や学校施設開放を実施し、身近にスポーツを楽しめる環境を充実させています。  
また、地域スポーツの拠点である、スポーツセンターにおいて各種教室を開催し、スポーツ人口の拡大・充実を図っています。

## 就学・教育相談

市の負担 約2.1億円

市民一人あたり 1,472円



子供一人ひとりのニーズに応じた支援を充実させるため、校内サポートルーム「ぱれっとルーム」を小学校に設置し、不登校の未然防止を図っています。  
また、不登校に繋がる環境や支援の在り方を分析し、研究成果レポートの公表やシンポジウムを行う、「ぱれっとラボ」の設立により、地域や保護者の不登校への理解を広げています。

## 交通対策

市の負担 約1.8億円

市民一人あたり 1,303円



市内の公共交通体系の円滑化を図るため、路線バスのノンステップバス導入に係るバリアフリー化支援や路線バス・タクシーの運行維持を行っています。  
また、市内を循環するコミュニティバス(喜沢・川岸・西・南西・美笹の5循環)の運行経費について、一部補助を行い、交通弱者やバスアクセス不便地域を緩和しています。

## 公園の維持管理

市の負担 約4.9億円

市民一人あたり 3,424円



市内にある約160カ所の公園や緑地を安全に利用できるように、設備の点検や清掃などを行っています。  
また、戸田市公園リニューアル化計画に基づき、公園の機能と役割を市域全体で整理するとともに、公園が持つ潜在的な魅力を引き出し、利用したくなる公園を目指しています。

# 戸田市とボートレース

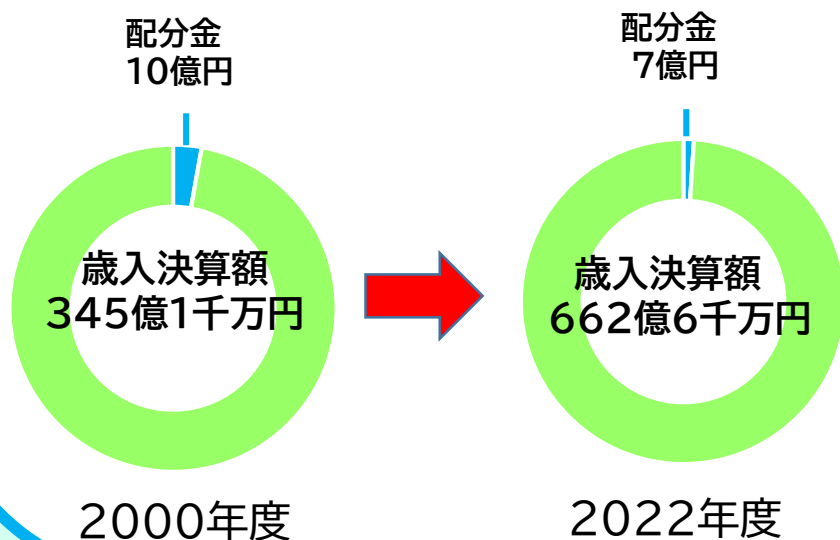


1954年に戸田競艇組合（現在の※戸田ボートレース企業団）が設立されて以来、ボートレースは戸田市の特色の一つとなっています。

ボートレースによる収入（配分金）は、教育文化の発展、体育振興、その他市民の福祉の増進を図るため、幅広い分野に使われています。

「戸田市はボートレースの収入があるから大丈夫」とよく言われてきましたが、かつてと比較すると収益の減少等により配分金の額が減少していること。また、本市の決算額が増加しているため、決算額に占める収入の割合も低下しています。

配分金については、これからも貴重な財源として、市民生活に活用していきます。



配分金が豊かな時代に始めた事業の見直しが必要です。



興味を持ったなら、ホームページにアクセスしてね！



戸田市の財政

検索

発行 戸田市役所 企画財政部財政課  
住所 〒335-8588 埼玉県戸田市上戸田1-18-1  
電話 048-441-1800（内線415・416）